

講義コード	511100501	
講義名	英語I ABC	
(副題)		
開講責任部署	幼児教育科（短大）	
講義開講時期	前期	
基準単位数	1	
時間	0.00	
代表曜日	木曜日	
代表時限	4時限	
科目分類名	教養科目	
科目分野名	A群	
対象学部・年次	短期大学部・1～2年	
必須/選択	選択必修	
担当教員		
職種	氏名	所属
非常勤教員	横塚 孝子	女子短期大学部
専任教員	教務委員会（短大）	指定なし

### 授業の概要

日本社会のグローバル化と共に、保育の現場においても英語教育の必要性が高まっている。本授業では、最初に各Unitの本文読解を行い、その後それに関連した問題演習を行なう。また、英語を使った様々な活動（季節の行事、歌、身体活動等）を取り入れ、保育の現場に生かせるようにする。

### 授業の到達目標及びテーマ

- ①基礎的な英語の知識・技能を高める。
- ②世界のさまざまな題材を通して、広い視野から物事を考えることができるようになる。

### 授業計画表

回	項目	内容
第1回	オリエンテーション	学びの目標、学習の進め方、レポートの書き方、その他
第2回	Unit 1 Olympic Cities	オリンピックの開催都市について学ぶ
第3回	Unit 2 Internet Communities	インターネット社会について考える
第4回	Unit 3 Console Gaming	テレビゲームの変換について知る
第5回	Unit 1～Unit 3	復習とまとめ、及びレポートの作成
第6回	Unit 4 Teleworking	テレワークについて考える
第7回	Unit 5 Graffiti	「グラフィティ」について考える
第8回	Unit 6 E-books	電子書籍の変換と発展について知る
第9回	Unit 4～Unit 6	復習とまとめ、及びレポートの作成
第10回	Unit 7 Multiculturalism	多文化共存社会について考える
第11回	Unit 8 Space Tourism	宇宙旅行の歴史と今後について知る

第12回	Unit 9 Cultural Taboos	文化的タブーについて知る
第13回	Unit 10 Volunteering	ボランティア活動について考える
第14回	Unit 7～Unit 10	復習とまとめ、及びレポートの作成
第15回	総復習	理解困難な箇所の復習、試験の対策・準備、レポートの提出

## 授業時間外の学修

[予習]次時に学習するUnitを以下のように事前学習することを求める。

- ・辞書等を活用して、本文の内容のアウトラインを理解しておく。
- ・付属のCDを利用して、本文の英語を聴いておく。
- ・各Unitの演習問題を解いておく。

[復習]授業内容の復習と定着、また題材に対する自分の考えをまとめるために以下の学習を求める。

- ・付属のCDを利用して、各UnitのListening問題に取り組む。
- ・題材の内容についての意見や感想を、レポートとしてまとめる。

(毎回の学習時間の目安は、1時間程度とする。)

## 実務経験の有無

実務経験のある教員が担当する 例：企業団体の実務経験者・税理士・学校現場教員経験者・カウンセラー等

## ディプロマポリシーとの関連

①幼児教育者観	②知識・技能	③実践力と実務能力	④人間性と協調性
		○	◎

## ルーブリック

評価項目	優秀 (excellent)	平均 (average)	途上 (developing)	未達 (unachieved)
教科書や授業の課題の理解度	授業内容を100%理解しており、授業内容を超えた自主的な学修が行えていると認められる	授業内容をほぼ95%程度理解していて、自主的な学修も少し行えていると認められる	授業内容の理解はほぼ75%程度であることが認められる	授業内容の理解は70%以下と判断できるため、レポートへの助言・新たな資料提供等の支援を行っている
発音・読み方等	沈黙や言い直しが全くなく、正しい発音でスムーズに読むことができている	沈黙や言い直しがあまりなく、正しい発音でスムーズに読むことができている	沈黙や言い直しは時折あるが、ある程度正しい発音で読むことができている	沈黙や言い直しは多々ある。また、正しい発音で読むことが難しいため、教員と一緒に読んでいる
言葉での表現力	正しく読みやすい言葉で表現されており、スムーズに内容を把握することができる。また、文法的にも正しく表現できている	読みやすい言葉で表現されており、ある程度内容を把握することができる。また、文法的にもほぼ正しく表現できている	沈黙や言い直しは時折あるが、ある程度正しい発音で読むことができている	表現された文章について内容を把握することが難しい。また、文法的な誤りが多々あるため指導を適宜している
レポート力 (復習も)	与えられたテーマについて、授業で紹介した方法、もしくはそれに類する独自の手法を使ってレポートを	与えられたテーマについて、授業で紹介した方法を使ってレポートを作成している	与えられたテーマにある程度沿って、授業で紹介した方法を使ってレポートを作成して	与えられたテーマに沿ったレポートになっていないため、教員が添削等の支援をしてい

含む)	作成している	いる	る
-----	--------	----	---

## 成績評価法（表形式）

	評価基準	備考
定期試験	70%	期末試験で、授業内容全般の理解度と定着度を評価する。
小テスト等		
成果発表		
授業への貢献度	10%	授業態度や、授業での発表状況等について評価する。
レポート	20%	各Unitのテーマについての感想や意見・考察が、授業内容や身近なことに絡めて書かれているかを評価する。
その他		

## 課題へのフィードバック方法

定期試験や小テストの結果について	課題（レポート等）について	模擬授業、プレゼン、発言等について
授業の中で解説、講評する	授業の中で解説、講評する	授業の中で解説、講評する

## ICTを活用した双方向型授業の内容

チャット
------

## アクティブラーニングの割合

総授業時間数の30%程度のアクティブラーニングである
----------------------------

## アクティブラーニングの内容

書く・話す・発表する等の活動におけるAL	経験値・技能を高める活動におけるAL	授業時間外におけるAL
発問の吟味・精選 小テストや授業内レポートの活用		授業後レポート

## 教科書

Andrew E. Bennett "Reading Pass 1 (SECOND EDITION)" (南雲堂)

## 参考書

なし。但し、必ず授業に英和辞書（電子辞書可）を携行すること。

## SDGsとの関連

--

4. 質の高い教育をみんなに  
10. 人や国の不平等をなくそ  
16. 平和と公正をすべての人

う  
に

**特記事項等****科目のナンバリング**

LIL1101

**研究室（訪問先等）**

中央研究棟2階 216号室 非常勤講師控室（木曜日のみ）

**電話番号**

028-652-3393

**授業用E-mail**[takako\\_yokotsuka@sakushin-u.ac.jp](mailto:takako_yokotsuka@sakushin-u.ac.jp)